

平成 21 年 1 月 29 日

報告 溝渕正昭

定例観察会報告(烏原貯水池の野鳥観察)

- 実施年月日 平成 21 年 1 月 25 日(日) 9 時 - 15 時 晴
- 観察コース 菊水山登山口 => 石井ダム => 烏原貯水池 (菊水山登山口集合受付)
- スタッフ 6 班 溝渕(観察案内) 安岡(受付他) 吉松(駅前案内・参加者誘導)
松本(次回案内他)
2 班 日下部(登山口受付・観察案内) 久保絃一(観察案内)
4 班 田淵(登山口受付)
- 観察テーマ 冬の野鳥観察
- 参加者 会員 13 名 入門コース 2 名 非会員 14 名 合計 29 名
- 観察結果

1.カイツブリ 2.カワウ 3.トビ 4.ハイタカ 5.オオタカ 6.ノスリ 7.ハヤブサ
8.オシドリ 9.ヒドリガモ 10.コガモ 11.カルガモ 12.マガモ 13.ハシビロガモ
14.ホシハジロ 15.キジバト 16.コゲラ 17.キセキレイ 18.セグロセキレイ
19.ヒヨドリ 20.モズ 21.ルリビタキ 22.ジョウビタキ 23.トラツグミ
24.シロハラ 25.ツグミ 26.ウグイス 27.エナガ 28.シジュウカラ 29.メジロ
30.ホオジロ 31.アオジ 32.カワラヒワ 33.シメ 34.イカル 35.スズメ
36.ハシブトガラス 37.ソウシチョウ

合計 37 種 (*太字は冬鳥)

トビ => 2 羽が平行飛行。繁殖のためのペリング行動。

ハヤブサ => 3 羽のハヤブサが鳴き交わしながら何度も交錯するように飛行する
姿を観察。

ハイタカ => 数羽のハシブトガラスに執拗に受ける攻撃をかわす様子を観察。

ハシビロガモ => 10 羽程が円を描くように泳ぎ水面の餌を採る、まさにサークル
ダンスの様。

トラツグミ・イカル => 今年初めて観察出来た種。

○ 備考

- a. 菊水山登山口にて集合受付、観察会概要・双眼鏡の使用方法などを説明。全員一緒に案内。
- b. ヌルデ、オオバヤシャブシ、アキニレの実の実物で野鳥の餌となる事を説明。
- c. 野鳥に感動してもらおう、野鳥に親しむ事を考え、出来る限り全員に望遠鏡で観察してもらおう。
納得行くまで観察してもらおう事をする。
- d. 手づくりの教材で説明をしていた。(久保氏)
- e. 鳥原貯水池について説明する。
- f. 観察後、鳥合わせ(観察した野鳥のチェック)を行う。
- g. 神戸新聞の広報を見ての参加者が4名いた。

○ 反省

- a. 9時集合だったのが、約30分送れとなり、定刻に来て待たされる結果となった。
- b. 駅前は狭く混雑するので集合場所を登山口にしていたが、行き違いがあった。
- c. 終了時刻が30分程遅れた。時間を守るか、参加者に納得行くまで観察してもらおうか
- d. 今後の改善に繋げるには終了後その都度スタッフでの反省会は有効ではないか。

○ 配布資料

- a. コース地図
- b. コース上の建造物解説
- c. 野鳥チェックリスト('07、'08 記録記載リスト)
- d. 山野の野鳥・水辺の野鳥図鑑の抜粋(清水氏作成) (昨年も配布)

以上

溝渕

VHD00321@nifty.ne.jp



雪の中から探鳥会は始まりました



鷹か？



ハヤブサ発見！



これがハヤブサです



石井ダムをあとに



みんなで鳥合わせ
37種も見ることができました